

# 「2018年度化学工学会インターンシップ」を終えて

公益社団法人化学工学会 人材育成センター高等教育委員会  
吉見智之

人材育成センターでは、毎年、大学院の学生を対象にインターンシップを募集し、登録企業に研修をお願いしています。本年度は74名の応募があり、41名の学生が7月から11月にかけて、それぞれの会社でインターンシップ研修を実施しました。

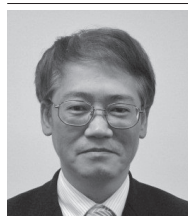
本会のインターンシップでは、受入登録をして頂いた企業のご協力で、化学工学系の学生向けのテーマやコースを設定、2週間から1ヶ月の比較的長い期間の研修をおこなって頂いています。例年40名を超える学生が採用となり、応募した学生の内、かなりの割合の学生がインターンシップ研修を実施することができています。学生の受入れを準備頂いた企業の、就職・採用活動などでご多忙の人事関係部署や、ご多忙中インターンシップを実施頂いた部署におかれては、インターンシップをお引き受け頂き、誠にありがとうございました。誌面を借りて御礼申し上げます。

2018年度のインターンシップ報告会は、芝浦工業大学豊洲キャンパスでおこなわれる第84年会初日の3月13日(水)に開催します。東亜合成(株)、綜研化学(株)の両社か

らインターンシップ活動の紹介、東洋エンジニアリング(株)からインターンシップ研修生を直接指導した若手社員(メンター)から研修の報告をして頂きます。また、5名前後のインターンシップを修了した学生からインターンシップ研修の体験について発表頂きます。その後、情報交換や意見交換の場として交流会もおこないます。本報告会およびその後の交流会のみに参加希望の学生は、年会参加費無料で参加できるようにしています(但し他の年会のセッションには参加不可)。来年度のインターンシップ研修をお考えの学生は是非参加して、報告会および交流会で情報収集をおこなってください。

インターンシップ研修を実施した学生からの一言コメントを掲載します。次年度のインターンシップに役立てて頂ければ幸いです。また、新たに本会のインターンシップに参加頂ける企業を引き続き募集しております。是非ご検討頂き、「インターンシップ」係(e-mail:internship\_2019@scej.org)までご一報ください。

氏名	大学名	一言コメント	研修先企業
安積 菜由	早稲田大学	企業のプロセス設計においては商業利益も考える必要があり、学術的、商業的な設計の違いを体験できた。	千代田化工建設(株)
飯塚 亮介	岡山大学	脱プロパン塔の設計を通してプロセスワークフローを学べた。	東洋エンジニアリング(株)
稲葉 久晃	広島大学	プラントの製造工程を設計する際、全ての製造工程において化学工学の知識が必要であり、また工程全体の流れを把握する事の重要性を学んだ。	(株)カネカ
猪口 和明	京都大学	企業での化学工学の活用のされ方や問題へのアプローチ、仕事の進められ方を体験でき、非常に有意義でした。	東レ(株)
岩井 崇	山口大学	工場見学や実験の試行を通し解くための化学工学ではなく、つくるための化学工学について体感し学ぶことができた。	東レ(株)
大森溪一郎	東京農工大学	プラント設計業務を体験し、仕事内容の理解だけでなく業務中のやり取りや雰囲気を感じることができ、働くイメージを持つことができた。	東洋エンジニアリング(株)
大谷 拓摩	富山大学	ウェブハンドリングでの機械や設備の検討をおこなった。おこなった実験がどのように生かされるかを理解できた。	住友ベークライト(株)
大山 満希	東京農工大学	JNC株式会社では様々なことを学べ、将来就く仕事の選択肢が増えるような経験をさせていただいた。	JNC(株)



Tomoyuki YOSHIMI (正会員・上席化学工学  
技士)  
1992年 京都大学大学院工学研究科化学工学  
専攻修了、博士(工学)  
現在 (株)カネカ生産技術研究所  
連絡先：〒676-8688 兵庫県高砂市宮前町  
1-8  
E-mail Tomoyuki.Yoshimi@kaneka.co.jp

岡田 惇	九州大学	化学工学が現場でどのように生かされているか知ることができ、将来を考える貴重な経験となった。	東レ(株)
金子健太郎	早稲田大学	ナノ分散について検討した。背景知識・技術を活用し、様々なことに柔軟に対応できるよう努力していきたい。	富士フィルム(株)
狩野 和樹	東京電機大学	常に製品化を意識しつつ、実験からコスト試算までをおこなうことで、生産技術に関わる業務を万遍なく学べる、大変貴重な機会となった。	出光興産(株)
菊田 健吾	岡山大学	化学プラントにおける省エネ検討の仕事を通して、化学工学を学ぶことの重要性を再認識できた。今回の経験は今後の学生生活の指針となった。	三菱ケミカル(株)
栗原 大季	宇都宮大学	プラント設計に関する知識とノウハウを学び、実際にP&IDを作製することで化学工学の重要性を改めて感じた。	東洋エンジニアリング(株)
栞畑 明穂	宮崎大学	インターンシップ全体を通して、企業理念に基づいて社員一丸となってより良いものを追い求めている姿勢が印象的でした。	花王(株)
鴻渡千亜季	金沢大学	化学工学の基本をラボ検討からスケールアップ検討を通して学び、その重要性を認識することができた。	花王(株)
小早川拓也	静岡大学	実習の内容だけでなく、多くの社員の方々のお話を聞くことができ、とても良い経験となった。	住友ベークライト(株)
笹谷 晃洋	広島大学	実習では圧力損失に関する検討をおこない、プラントにおける化学工学の重要性を強く実感でき、化学工学を勉強する意欲が高まった。	三菱ケミカル(株)
清水 歩弥	岡山大学	インターンシップを通して、実際に企業で働くイメージを持つことができ、新たな知識の習得にも繋がった。	JSR(株)
杉本 祐太	東北大学	実験結果より製造ブロックフローの設計をおこなった。グループワークであるため、主観的ではなく客観的に結果を考察することができた。	出光興産(株)
杉山 友亮	京都工芸繊維大学	ポリマー粒子製造における基礎検討及びスケールアップ検討を通して、生産技術職としての研究の進め方や考え方を学んだ。	JNC(株)
鈴木 彩佳	群馬大学	生産現場の中核での実習を通して、化学工学のみならず幅広い分野の知識を蓄えておきたいと感じた。	日本ゼオン(株)
玉串 泰吾	東京農工大学	海外向けプロジェクトの設計業務の一部を体験し、Drumや蒸留塔の高さ設計をおこなった。正確な書類作成と英語でのコミュニケーションの必要性を強く感じた。	日揮(株)
千葉 匠	埼玉大学	企業でのシミュレーションの活用のおさらいと、働く上での納期とコスト意識の重要性を学ぶことができた。	(株)ダイセル
中尾 貴一	京都工芸繊維大学	プラント設計に至るまでの経緯を理解する事ができ、化学工学的知識が実際にどのように活用されているかを認識できた。	出光興産(株)
中田 圭重	岩手大学	実習を通して化学業界、生産・技術開発職で働くイメージを掴むことができた。また、大学とはまた違う企業の研究のやり方を感じる事ができた。	JNC(株)
中田 昌伸	関西大学	世界のニーズに合わせて、よりよいプロセスを生み出す姿勢は私も意識する必要があると感じた。	日揮(株)
西野 巧海	鹿児島大学	プロセス開発業務を体験し、化学工学の重要性だけでなく、コストや納期など企業で働くうえで大事なことを学ぶことができた。	(株)クレハ
西本 巧	徳島大学	企業での仕事の実態や求められるスキルを知ることができ、今後の学生生活の指針となった。	三菱ケミカル(株)
羽柴 晃輝	広島大学	化学メーカーにおける化学工学の役割と重要性、ケミカルエンジニアとして必要な能力を強く認識することができた。	東レ(株)
畑岡 直弥	広島大学	スケールアップをするためのラボ研究では、化学工学の知識が重要であることを認識することができた。	花王(株)
原 幹	名古屋大学	熱心なご指導の下、社会における化学工学の役割を実体験し、働くイメージを明確に持つことができた。	JSR(株)
福園 涼	鹿児島大学	粉体設備設計の粉体評価をおこない、粉体工学を利用し、化学工学における単位操作の重要性を理解できた。	協和発酵バイオ(株)
福原 芳樹	鹿児島大学	実際の業務を体験することで、研究員という職業に対して具体性のあるイメージを持つことができた。	花王(株)
松原 聖	埼玉大学	インターンに参加したことで、企業の一員として専門知識を生かして働くことのイメージができるようになった。	(株)クレハ
三浦 翔	鹿児島大学	大学では得られない経験ができ、有意義な研修になった。プラントや研究所の見学では、現場の雰囲気の大いに感じ取れた。	(株)クレハ
三国 勇大	鹿児島大学	安全に関する対策や決まりが充実しており、刺激を受けた。粉砕機構について理解が深まり、関心のある分野が増えた。	綜研化学(株)
村田 光司	金沢大学	工場・パイロットプラントの見学や技術者の方での研究体験を通じて学ぶことが多く、貴重な体験となった。	協和発酵バイオ(株)
山口 拓也	鹿児島大学	人との関わり方、大学と企業での研究の違い、化学メーカーでの仕事のイメージを今回のインターンシップを通して学ぶことができた。	JNC(株)
山田 紗希	岐阜大学	1つの機器設計でも、メリットだけでなく実現性や安全性等さまざまなファクターを考慮しなければいけないことを体感した。	三菱ケミカル(株)
山本 朔加	金沢大学	B to Bメーカーとしての技術開発や安全等への取り組みを深く学ぶことができた貴重な3週間でした。	(株)カネカ
山本 知世	岡山大学	企業での化学工学やシミュレーション技術の扱い方を学び、モノづくりの一端に触れることのできた貴重な経験となった。	(株)ダイセル